

教員養成スタンダード（栄養教諭）

「到達目標及び目標到達の確認指標」

	到達目標		目標到達の確認指標
1 使命感や責任感、教育的愛情等に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ・教育に対する使命感や情熱を持ち、常に子供から学び、共に成長しようとする姿勢が身に付いている。 ・高い倫理観と規範意識、困難に立ち向かう強い意志を持ち、自己の職責を果たすことができる。 ・子供の成長や安全、健康を第一に考え、適切に行動することができる。 	1	誠実、公平かつ責任感を持って子供に接し、子供から学び、共に成長しようとする意識を持って、指導に当たることができる。
		2	教員の使命や職責についての基本的な理解に基づき、自発的・積極的に自己の職責を果たそうとする姿勢を持っている。
		3	自己の課題を認識し、その解決に向けて、自己研鑽に励むなど、常に学び続けようとする姿勢を持っている。
		4	子供の成長や安全、健康管理に常に配慮して、具体的な教育活動を組み立てることができる。
2 社会性や対人関係能力に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ・教員としての職責や義務の自覚に基づき、目的や状況に応じた適切な言動をとることができる。 ・組織の一員としての自覚を持ち、他の教職員と協力して職務を遂行することができる。 ・保護者や地域の関係者と良好な人間関係を築くことができる。 	5	挨拶や服装、言葉遣い、他の教職員への対応、保護者に対する接し方など、社会人としての基本が身に付いている。
		6	他の教職員の意見やアドバイスに耳を傾けるとともに、理解や協力を得ながら、自らの職務を遂行することができる。
		7	学校組織の一員として、独善的にならず、協調性や柔軟性を持って、校務の運営に当たることができる。
		8	保護者や地域の関係者の意見・要望に耳を傾けるとともに、連携・協力しながら、課題に対処することができる。
3 幼児・児童・生徒理解や給食管理と食に関する指導に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ・子供に対して公平かつ受容的な態度で接し、豊かな人間的交流を行うことができる。 ・子供の発達や心身の状況に応じて、抱える課題を理解し、的確な給食の管理提供を行うことができる。 ・子どもの健康状態を把握し、課題解決のために適切な食に関する指導を行うことができる。 	9	気軽に子供と顔を合わせたり、相談に乗ったりするなど、親しみを持った態度で接することができる。
		10	子供の声を真摯に受けとめ、子供の健康状態や性格、生育歴等を理解し、公平かつ受容的な態度で接することができる。
		11	社会状況や時代の変化に伴い生じる新たな課題や子供の変化を、進んで捉えようとする姿勢を持っている。
		12	子供の特性や心身の状況を把握した上で食に関する指導の計画案を作成し、それに基づく給食の管理提供、食に関する指導をしようとする姿勢を持っている。
4 教科・保育内容等の指導力に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の内容を理解しているなど、学習指導の基本的事項（教科等の知識や技能な 	13	【栄養教諭】食に関する指導の計画に基づき、学級担任等と連携して、教科や特別活動を活用した食に関する指導を行うことができる。

<p>ど)を身に付けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関連する教科、特別活動(給食、学級活動等)において、学級担任等と連携して食に関する指導を行うことができる。 ・板書、話し方、表情など授業を行う上での基本的な表現力を身に付けている。 ・子供や地域等の実態に応じて、指導法や学習形態等を工夫することができる。 ・学級担任、養護教諭等と連携して子供や保護者を対象に健康やアレルギー疾患等に対する適切な指導、対応を行うことができる。 	14	【栄養教諭】学習指導案の作成、板書や発問、的確な話し方など基本的な授業技術を身に付けるとともに、子供の実態に応じた指導法や学習形態を工夫し、授業を行うことができる。
	15	【栄養教諭】教科や特別活動の指導計画の内容を十分理解、把握し、連携した指導に当たるための指導法や教材研究を積極的に行っている。
	16	【栄養教諭】給食を生きた教材として活用し、子供や学校の実態に合わせた指導法や資料を工夫し、給食の時間における指導を行うことができる。
	17	【栄養教諭】教職員・保護者・関係機関等と連携して子供の健康状態に応じた食に関する指導(集団・個別)を適切に行うことができる。
	18	